

# 飼料貨物の海運モーダルシフト

協議会名:飼料モーダルシフト協議会

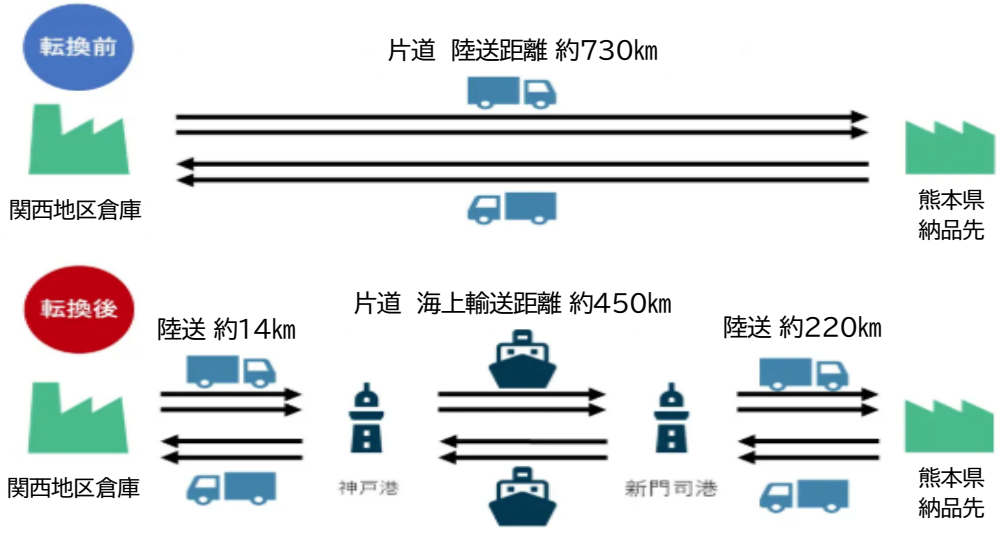
協議会構成員  
北九州市、鐵伸運輸株式会社(代表者)、株式会社上組、阪九フェリー株式会社  
北九州商工会議所

【事業実施背景】近年の物流問題としてドライバー不足、物流コストの上昇、地域道路の老朽化、災害などで交通網が寸断され代替ルート確保も難しくなっており、2024問題への対応が喫緊の課題。そこで阪九フェリーへのモーダルシフトにより、ドライバーの拘束時間の削減、輸送の安全確保、災害強靱化や環境負荷削減に取り組む。

## 事業内容

Point

モーダルシフトを推し進めるにあたり、関西方面から九州北部へ飼料の輸送を阪九フェリーの海運に転換し、CO2排出量の削減、ドライバーの労働条件も改善。  
自治体・経済団体・事業者間で物流施策を地域振興策や環境政策と連動させ、輸送スキームを構築する。



## 想定事業実施効果

【事業実施による効果および目標】

- 長距離の陸送による九州北部への輸送を海運に転換し2024問題に対する輸送方法を確立
- 本事業によるモーダルシフト輸送の効果は以下の効果を想定。KPIは環境、労働、輸送効率の3つの観点から下記の目標を立てて取り組む。

CO2排出量(削減率)	約31%削減
ドライバーの平均拘束時間	拘束時間13時間以内
トラックの積載率	約9.5%ポイント改善